

【 まちの将来像5 】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる
施策の方向性	本市の農林業は、都市近郊立地の特性をいかし、都市と農村の交流を基軸とした地産地消の取組や、適切な森林整備を促進するとともに、地域ぐるみでの営農や市民、企業等の新たな担い手を育成します。 また、商店街が便利で楽しみのある場所として、買い物客や地域住民で賑わい、市内企業が安定的に事業を継続し、成長を遂げるなど、活力あふれるまちづくりを進めていきます。	
★：重点プラン 該当取組	1	★ 農林業の振興
	2	★ 都市と農村の交流活動等による活性化
	3	★ 商業の活性化
	4	企業活動への支援
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-1-1	★ 農林業の振興
1	事業名	◎ 新規農業者養成事業
	目的 及び 概要	農業の担い手の高齢化や若者の農業離れ等により担い手が不足し、将来、農地の遊休化が進むと考えられ、今後、持続的な農業の推進には都市住民等に農業に興味を持ってもらう必要があることから、市民や学生等を対象とした農業体験を実施し、農家への援農や将来、新規就農に結びつける。また、一定の営農技術を取得し、独立・自営就業するものに対し、国の給付金を活用して、農業経営をサポートする。 H30年度 内容 ①農業体験の実施 ②国の給付金を活用した支援の実施 ③農業体験ファーム受講者に対する支援 事業の方向性の見込み (対前年度比)
		H31年度継続 H32年度継続 H33年度継続 H34年度継続
	方向性 (対前年度比)	継続
	事業費 (百万円)	3.4
	うち市負担分 (百万円)	0.4
担当課	部名	産業環境部
	課名	農とみどり推進課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
2	事業名	新しい農業施策構築に向けた調査等
	目的 及び 概要	新しい農業施策を構築・展開するため、地区ワークショップ等により地域の課題等を調査・整理するとともに、地域農業者とともにモデル事業を検討・実施する。 H30年度 内容 ①基礎調査 ②事業の検討・モデル実施 事業の方向性の見込み (対前年度比)
		H31年度継続 H32年度継続 H33年度継続 H34年度継続
	方向性 (対前年度比)	新規
	事業費 (百万円)	2.9
	うち市負担分 (百万円)	2.9
担当課	部名	産業環境部
	課名	農とみどり推進課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
3	事業名	有害獣対策事業
	目的 及び 概要	有害獣による農作物被害の防止を図るため、イノシシ・アライグマ等の捕獲活動の実施や有害獣防止柵・網の設置に対して助成を行い、農業経営の安定化と地域の活性化を図る。 H30年度 内容 ①有害獣防止柵設置に対する支援 ②捕獲活動に対する支援 事業の方向性の見込み (対前年度比)
		H31年度継続 H32年度継続 H33年度継続 H34年度継続
	方向性 (対前年度比)	継続
	事業費 (百万円)	3.5
	うち市負担分 (百万円)	3.5
担当課	部名	産業環境部
	課名	農とみどり推進課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 環境保全型農業推進事業													
	目的 及び 概要	生産性・収益性の高い作物の奨励や栽培技術、営農指導を行い、エコ農産物の栽培や環境に配慮した環境保全型農業を推進することにより、市民に安心・安全な農産物を供給し、地産地消を推進する。			H 30 年度	内 容	①エコ農産物の栽培支援 ②有機性資源を活用した土づくりに対する支援 ③農業祭や広報誌等を活用し、生産・販売しているエコ農産物の情報発信						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.9	うち市負担分 (百万円)	0.9	H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

5	事業名 農業振興推進事業(遊休農地解消事業)												
目的 及び 概要	集落営農活動に対する支援や農業委員会、農地中間管理機構等との連携による都市住民等の担い手の確保を行い、遊休農地の解消を図る。			H 30 年度	内 容	①農業委員会と連携した遊休農地調査や営農指導 ②農地中間管理機構や準農家制度を活用した担い手の確保 ③集落営農へ農機具等の貸付等の支援の実施						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
H31 年度	継続												
H32 年度	継続												
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
6	事業名 林業推進事業												
目的 及び 概要	公益的な機能を有する森林の健全な管理育成と、都市と農村の交流の場として森林空間の提供を行うほか、林業者団体が実施する森林整備作業に対し支援を行う。 【関連取組:6-2-2 自然資源の利用の推進】			H 30 年度	内 容	①林業者団体等が実施する森林整備事業への補助 ②森林病害虫対策の実施 ③森林整備に必要な林道の維持						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
H31 年度	継続												
H32 年度	継続												
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	9.3	うち市負担分 (百万円)	8.4	H33 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
7	事業名 農村総合整備事業												
目的 及び 概要	水路や取水堰等の基盤整備を実施し、営農環境を改善することにより農作物の生産効率を高める。また、「見山の郷」廻りの親水護岸を整備することで、修景施設としての魅力の向上を図る。			H 30 年度	内 容	①事業実施 工事(取水堰)						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
H31 年度	継続												
H32 年度	継続												
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	17.0	うち市負担分 (百万円)	2.6	H33 年度	完了
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名 遊休農地解消事業														
	目的 及び 概要	農とみどり推進課等と連携し、優良農地の確保及び担い手の利用促進に努め、遊休農地の解消及び未然防止を図る。				H 30 年度	内 容	①農地の利用状況調査 ②農とみどり推進課との連携、農地中間管理事業や準農家制度を活用した担い手の確保					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
担当課	部名	農業委員会		課名	農業委員会事務局		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
取 組		5-1-2		★ 都市と農村の交流活動等による活性化											
9	事業名 ◎ 農業振興推進事業(農空間活用事業)														
	目的 及び 概要	直売活動や都市と農村の交流活動を活発化させるため、新たな特産品の栽培・販売支援や農商連携を行い、地産地消の促進を図る。				H 30 年度	内 容	①れんげ米の栽培支援 ②新たな特産品の開発、販売の促進 ③農商連携によるアンテナショップの開設検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.9	うち市負担分 (百万円)	0.9	H33 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
10	事業名 ふれあい農園管理事業														
	目的 及び 概要	自然にふれあう機会と農業を体験する場を提供するため、市民農園の管理運営を行うとともに、平成10年よりふれあい農園の管理業務を市で実施しているが、平成25年度に6箇所目の農園を開園し、業務量が增大しており、事業費及び事務量の削減のため、平成32年度より指定管理者制度による運営を行う。				H 30 年度	内 容	①講習会の開催 ②入園者の募集 ③日常の管理運営 ④指定管理者制度の検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H31 年度	継続	
													H32 年度	縮小	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.5	うち市負担分 (百万円)	1.5	H33 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
11	事業名 農業祭開催事業														
	目的 及び 概要	市内農林産物等を展示し、都市と農村の交流を図ることにより、農林業に対する市民の理解と認識を深めるとともに、農林業の健全な発展と農業・農村の活性化を図る。				H 30 年度	内 容	①農業祭開催のための負担金					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H33 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

12	事業名	◎ 北辰中学校跡地活用事業											
	目的 及び 概要	平成23年3月31日を持って廃校となった北辰 中学校跡地のうち、運動場を活用してオート キャンプ場を暫定開場し、利用者より意見や 要望を聴取することで、都市住民との交流促 進や山間地域の活性化につなげ、併せて地 域住民の新たな雇用の可能性を探る。	H 30 年 度	内 容	①事業の方向性の検討 ②オートキャンプ場の暫定開設						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.3	うち市負担分 (百万円)	2.3	H34 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

13	事業名	都市と農村交流情報発信事業											
	目的 及び 概要	もぎ取り園などの体験型農園や直売所におけ るイベントの開催等についての情報発信を行 い、都市と農村の交流を促進し、農業の振興 を図る。	H 30 年 度	内 容	①広報誌及びHPによる情報発信 ②農林業に関係した魅力の発掘や情報の収集 ③交流促進につながる情報発信						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

14	事業名	体験農園開設支援事業											
	目的 及び 概要	農家等が農地を利用して体験農園や市民農 園を開設し、都市住民に対する農業体験の 場を提供する場合、市として農園開設につい ての相談やアドバイスをを行い、市民農園等 の開設を促進し、都市と農村の交流の推進 を図る。	H 30 年 度	内 容	①農家等への開設に向けた相談やアドバイスの実 施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

取 組	5-1-3	★ 商業の活性化											
-----	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

15	事業名	◎ 産業振興アクションプラン推進事業											
	目的 及び 概要	産業振興ビジョンに位置付けた「市内産業の あるべき姿」を実現するため、産業振興アク ションプランの重点施策を中心に、一体的か つ継続的に取り組む。	H 30 年 度	内 容	①アクションプラン(前・後期)の実現に向けた事業 の進捗管理 ②(70)おいもグルメフェアの実施 ③中小企業者を対象とした貿易など海外展開に必 要な知識を得るためのセミナーを実施 ④農商連携に向けた交流会の実施及び継続性の 検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	完了	
											H33 年度	-	
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	4.1	うち市負担分 (百万円)	4.1	H34 年度	-						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	商工業振興補助事業											
	目的 及び 概要	市内の商工業の活性化を促進するため、商店街等が行う共同施設関連事業(施設・設備等の設置)、共同運営事業(活性化計画の策定、顧客利便施設の運営等)、イベント等及び中小企業者が行う人材育成にかかる事業経費の一部を補助する。	H 30 年度	内 容	①商店街等の共同施設関連事業、共同運営事業、イベント事業、街路灯維持管理事業に補助金を支給 ②中小企業の人材育成(研修受講)に補助金を支給							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.9	うち市負担分 (百万円)	6.9	H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
H33 年度	継続												
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
17	事業名	◎ 小売店舗改築(改装) 補助事業											
	目的 及び 概要	市内の商工業施設の活性化を促進するため、市民や法人が市内で所有又は賃借している小売店舗等(小売業、飲食店、理・美容業、療術業)の改築・改装工事に対して、対象経費の1/2(限度額50万円)を補助する。また、商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店を行う場合も改築・改装費用の一部を補助する。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】	H 30 年度	内 容	①市内で小売業、飲食業、理・美容業、療術業を営んでいる市民又は市内法人が、小売店舗の改築・改装する場合に補助金を支給 ②商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店する事業者が、小売店舗の改築・改装を行う場合に補助金を支給							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.5	うち市負担分 (百万円)	6.5	H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
H33 年度	継続												
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
18	事業名	産業活性化プロジェクト促進事業											
	目的 及び 概要	市内産業の活性化につながる民間の主体的な取組を促進するため、市内で事業を営むものが実施する、事業者や商品のPR事業、新製品開発を行う事業に対し、申請者からの事業提案に基づき、経費の一部を補助する。	H 30 年度	内 容	①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に対し補助金を交付							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.0	うち市負担分 (百万円)	1.0	H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
H33 年度	継続												
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
取 組		5-1-4	企業活動への支援										
19	事業名	企業立地支援事業											
	目的 及び 概要	既存企業の市内での事業継続に資するため、企業訪問を通じて、企業が求める行政情報を把握・提供するとともに、企業支援のワンストップ窓口を設けるなど企業活動を支援している。	H 30 年度	内 容	①企業訪問活動 ②企業が活用できる支援事業等の周知 ③広報誌による市内企業の紹介 ④企業からの相談のワンストップ化							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.5	うち市負担分 (百万円)	0.5	H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
H33 年度	継続												
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名 企業立地促進奨励金事業													
	目的 及び 概要	企業の立地や設備投資を促進することにより、地域経済の活性化を図るため、企業等が新たに取得した土地・建物・設備に課される固定資産税・都市計画税額相当額の2分の1を、奨励金として交付する。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】			H 30 年度	内 容	①奨励金の対象者や交付要件等、制度の見直しを実施。 ②本社機能移転などによる雇用増に対する支援策の検討。						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													H34 年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

21	事業名 商工会議所事業補助													
	目的 及び 概要	市内の新産業の創出・育成並びに既存産業の成長・発展を促進するため、茨木商工会議所が行う市内産業の総合的発展に資する事業に対して補助金を交付する。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】			H 30 年度	内 容	①茨木商工会議所が行う、地域産業活性化事業、中小企業相談所事業及び創業支援ネットワーク事業に補助金を交付						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													H34 年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

22	事業名 経営相談・指導事業													
	目的 及び 概要	市内の商店や企業の発展、創業希望者の開業を支援するため、経営アドバイザー（中小企業診断士）とともに、事業者への助言、指導等を行う。			H 30 年度	内 容	①経営アドバイザーによる創業希望者の開業支援（助言・指導等） ②経営アドバイザーによる商工業者、大学生をはじめとした若者等の経営相談 ③事業所・商店街等への巡回						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													H34 年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

23	事業名 融資関連補助事業													
	目的 及び 概要	中小企業者の融資に係る負担の軽減を図り、中小企業の健全な発展と経営の安定を促進することで市内商工業の振興に資する。			H 30 年度	内 容	①信用保証料補助 ②事業内容を検討のうえ、必要であれば継続する。						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	縮小
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													H34 年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

24	事業名	産業情報サイト運営事業													
	目的 及び 概要	商工業を中心とした市内企業の情報化を促進し、消費者の利便性の向上を図るため、産業情報サイトを整備し、サイト内において市内の商店や企業の業務内容や営業案内等を掲載して広く消費者等に情報発信を行う。				H 30 年度	内 容	①サイトの運営 ②サイトの保守管理						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.7	うち市負担分 (百万円)	0.7	H34 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			
25	事業名	中小企業融資対策事業													
	目的 及び 概要	中小企業者の経営安定を図るため、大阪信用保証協会の100%保証による、茨木市中小企業振興資金等融資と大阪府中小企業融資を斡旋している。また、セーフティネットに伴う市町村認定も行っている。				H 30 年度	内 容	①茨木市中小企業振興資金融資及び大阪府中小企業融資の斡旋 ②セーフティネットに伴う市町村認定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分	ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる
施策の方向性	特区制度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、バイオ・ライフサイエンス分野など成長産業の集積や幹線道路沿道等での物流施設など本市の地域特性をいかした企業立地を進めます。また、多様なビジネスの創出とともに、育成された人材がいきいきと活躍することで、活力がみなぎるまちづくりを進めていきます。	
★:重点プラン 該当取組	1	★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成
	2	★ 幹線道路沿道での企業立地誘導
	3	★ 特区制度などを活用した企業立地
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-2-1		★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成											
1	事業名 ◎ 創業促進事業														
	目的 及び 概要	本市における創業を促進するため、創業促進事業補助制度(市内で創業する者にテナント賃借料・改装工事費・法人設立に要する経費の一部を補助)、特定創業支援事業(民間の創業支援事業者と連携した創業者支援)をはじめとした創業支援を実施する。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】				H 30 年 度	内 容	①市内で営利を目的とした事業を創業・拡大する者に対して補助金を支給(制度を拡充) ②民間の創業支援事業者と連携して、創業希望者に必要な知識を習得するための支援を行い、証明書を発行する。 ③女性向け起業セミナー(入門編・実践編)の実施及び入門編の継続必要性を検討 ④学生の起業に対する関心を高めるセミナーの実施 ⑤大阪市内で起業志望者誘致セミナーを実施 ⑥起業志望者にチャレンジの場を提供する取組の検討						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
								H31 年度		継続					
								H32 年度		継続					
								H33 年度		継続					
方向性 (対前年度比)		拡充		事業費 (百万円)		21.3		うち市負担分 (百万円)		20.6		H34 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
2	事業名 ◎ 産学連携スタートアップ支援事業														
	目的 及び 概要	市内中小企業者等の優れた技術の掘り起こしやその実用化に向けた取組を促進することで、本市の経済成長及びイノベーション創出に寄与することを目的とし、産学連携による新技術、新製品、新サービスの研究開発等に必要な経費の一部を補助する。				H 30 年 度	内 容	①中小企業者の具体的な新技術や新製品または新サービスの研究開発、技術革新などに関し、市内大学等と行う連携事業にかかる経費の一部を補助 ②市内大学以外の大学との連携事業も対象とする ③企業と大学との連携機会を創出するため、産学連携交流サロン事業を実施						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
								H31 年度		継続					
								H32 年度		継続					
								H33 年度		継続					
方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		12.0		うち市負担分 (百万円)		12.0		H34 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		
3	事業名 ◎ バイオインキュベーション施設集積促進補助事業														
	目的 及び 概要	バイオインキュベーション施設の集積促進を図り、本市産業の振興に資するため、バイオインキュベーション施設の運営者が行う総合的なインキュベーション支援活動を支援する。				H 30 年 度	内 容	①バイオインキュベーション施設集積促進事業に要する経費のうち、施設賃借経費、人件費及び管理経費の一部を助成 ②平成35年9月末の契約期間終了後のあり方について検討						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
								H31 年度		継続					
								H32 年度		継続					
								H33 年度		継続					
方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		23.5		うち市負担分 (百万円)		23.5		H34 年度	継続		
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	◎ バイオインキュベーション施設賃料補助事業											
	目的 及び 概要	バイオベンチャー企業の集積を図り、本市産業の振興に資するため、彩都ライフサイエンスパーク内の施設(彩都バイオインキュベータ、大阪府認定施設、彩都バイオイノベーションセンター)において、ライフサイエンス分野の研究開発を行うバイオベンチャー企業に対して、施設賃料の一部を補助する。	H 30 年 度	内 容	①バイオインキュベーション施設に入居するバイオベンチャー企業に対して、施設の賃料の一部を補助 ②平成35年9月末の契約期間終了後のあり方について検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H31 年度		継続		H32 年度		継続		
					H33 年度		継続		H34 年度		継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
取 組	5-2-2	★ 幹線道路沿道での企業立地誘導											
5	事業名	◎ 幹線道路沿道土地利用事業											
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力づくり】	H 30 年 度	内 容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 【目垣地区】 ①関係機関協議 ②都市計画変更・決定 ③土地区画整理組合設立						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H31 年度		継続		H32 年度		継続		
					H33 年度		継続		H34 年度		継続		
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
6	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業											
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定等を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年 度	内 容	①都市計画決定等						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H31 年度		継続		H32 年度		継続		
					H33 年度		継続		H34 年度		継続		
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
取 組	5-2-3	★ 特区制度などを活用した企業立地											
7	事業名	◎ 茨木市成長特区税制における事業計画認定等事務事業											
	目的 及び 概要	地域経済の活性化及び持続的な発展に繋がる成長企業の誘致を図るため、市内の成長産業特区指定区域において、ライフサイエンス分野や新エネルギー分野などの事業を実施する企業の事業計画を認定し、当該企業の法人市民税や固定資産税の軽減を行う。	H 30 年 度	内 容	①成長産業特区における市税の軽減の対象となる事業計画の認定及び変更認定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H31 年度		継続		H32 年度		継続		
					H33 年度		継続		H34 年度		継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	◎【再掲】企業立地促進奨励金事業													
	目的 及び 概要	企業の立地や設備投資を促進することにより、地域経済の活性化を図るため、企業等が新たに取得した土地・建物・設備に課される固定資産税・都市計画税額相当額の2分の1を、奨励金として交付する。 【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】				H 30 年度	内 容	①奨励金の対象者や交付要件等、制度の見直しを実施。 ②本社機能移転などによる雇用増に対する支援策の検討。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				
9	事業名	【再掲】彩都建設推進事業													
	目的 及び 概要	大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。 【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 30 年度	内 容	①交番の設置要望 ②(東部地区)先行エリアの事業推進 ③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる
施策の方向性	働く意欲はあるが就労にあたり困難な要因を抱える人(就職困難者)や不安定な就労を余儀なくされている人の能力と希望に応じた就労を支援する施策に取り組みます。また、市内の事業所において、働く人々が安心して、いきいきと働くことができる職場づくりを促進する施策に取り組みます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 就労の支援
	2	★ 働きやすい職場づくりの推進
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-3-1	★ 就労の支援
1	事業名	◎ 就職サポート事業
	目的及び概要	就労支援などを行う関係機関と連携し、就職困難者等の職業的自立を目指すため、就職相談、講習会・セミナーの実施や職業訓練校等への誘導、合同就職面接会の開催など就職に向けた支援を行う。 H30年度 内容 ①就職や労働問題に対する仕事なんでも相談 ②就職困難者の職業能力を開発する講座開催や講座受講費用の補助 ③求職者と地元企業をつなぐ企業説明会・見学会や、直接就職に結びつく合同就職面接会の開催 ④就労を体験する事業の実施
		事業の方向性の見込み(対前年度比) H31年度 継続 H32年度 継続 H33年度 継続 H34年度 継続
		方向性(対前年度比) 継続 事業費(百万円) 8.5 うち市負担分(百万円) 5.7
	担当課	部名 産業環境部 課名 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト
2	事業名	雇用促進奨励金事業
	目的及び概要	市民の安定就労に資するため、市民を雇用した市内事業所に対し奨励金を交付する。 H30年度 内容 ①働きやすい職場づくり推進事業所として認定した事業所への奨励金額の増額等の拡充を行い、奨励金制度を実施。
		事業の方向性の見込み(対前年度比) H31年度 継続 H32年度 継続 H33年度 継続 H34年度 廃止
		方向性(対前年度比) 拡充 事業費(百万円) 10.9 うち市負担分(百万円) 10.9
	担当課	部名 産業環境部 課名 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト
3	事業名	障害者雇用奨励金事業
	目的及び概要	障害者雇用を促進し、障害者の自立の助長と福祉の増進を図るため、障害のある市民を雇用する事業主に対して、奨励金を支給する。 H30年度 内容 ①障害のある市民を雇用し、国の特別求職者雇用開発助成金を受給する事業主に対して、奨励金を支給
		事業の方向性の見込み(対前年度比) H31年度 継続 H32年度 継続 H33年度 継続 H34年度 継続
		方向性(対前年度比) 継続 事業費(百万円) 2.9 うち市負担分(百万円) 2.9
	担当課	部名 産業環境部 課名 商工労政課 会計区分 一般 事業区分 ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-3-2		★ 働きやすい職場づくりの推進										
4	事業名 ◎ 雇用・労働関係セミナー及び労働に関する啓発事業													
	目的 及び 概要	健全な雇用関係の確立及び働きやすい職場環境の実現を図るため、セミナーを開催するとともに、公正な採用選考、障害者・高齢者雇用促進などの啓発活動を実施している。	H 30 年 度	内 容	①労働法制等の理解を深め、労働関係の安定を図るセミナーの開催 ②障害者等の雇用促進や働きやすい職場づくりのための啓発活動 ③働きやすい職場づくりを支援するセミナーの開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.7	うち市負担分 (百万円)	0.7	H34 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
5	事業名 茨木市勤労者互助会補助事業													
	目的 及び 概要	パートタイマーを含む従業員の福祉の増進、および事業所における雇用の安定を図るため、勤労者互助会が行う勤労者福祉増進のための事業に対し補助金を支給する。	H 30 年 度	内 容	①勤労者互助会が行う勤労者福祉増進のための事業に対し補助金を支給						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H34 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
6	事業名 勤労者スキルアップ支援等セミナー													
	目的 及び 概要	勤労者の能力向上や勤労者福祉の増進を図るため、勤労者の知識・技能の向上、中小企業の人材育成につながるセミナーを開催している。	H 30 年 度	内 容	①勤労者の知識・技能の向上、中小企業の人材育成につながるセミナーの開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3	うち市負担分 (百万円)	0.3	H34 年度	継続							
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
7	事業名 ◎ 働きやすい職場づくり推進事業													
	目的 及び 概要	勤労者の福祉の向上を図るため、両立支援や福利厚生充実など働きやすい職場づくりに取り組む事業主に支援を行う	H 30 年 度	内 容	①両立支援等の働きやすい職場づくりを推進する事業所の認定 ②働きやすい職場づくり推進事業所として認定した事業所について、PRや雇用にかかる奨励金制度の優遇等のインセンティブの実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H34 年度	廃止							
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる
施策の方向性	広域的な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図り、強み(ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。	
★:重点プラン 該当取組	1	計画的な都市基盤整備や市街地整備
	2	★ 彩都の都市づくり
	3	適切な開発や建築物・土地利用の誘導
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-4-1		計画的な都市基盤整備や市街地整備										
1	事業名		【再掲】都市計画決定等事務事業											
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①都市計画決定等							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H31 年度	継続								
					H32 年度	継続								
					H33 年度	継続								
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.2)	うち市負担分 (百万円)	(1.2)	H34 年度	継続		
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
2	事業名		【再掲】幹線道路沿道土地利用事業											
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力づくり】	H 30 年度	内 容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 【目垣地区】 ①関係機関協議 ②都市計画変更・決定 ③土地区画整理組合設立							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H31 年度	継続								
					H32 年度	継続								
					H33 年度	継続								
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(110)	うち市負担分 (百万円)	(110)	H34 年度	継続		
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
3	事業名		【再掲】立地適正化計画策定事業											
	目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①パブリックコメント等の実施 ②立地適正化計画の策定							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					H31 年度	継続								
					H32 年度	継続								
					H33 年度	継続								
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(4.8)	うち市負担分 (百万円)	(2.3)	H34 年度	継続		
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	【再掲】低炭素都市づくり推進事業												
	目的 及び 概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分		一般		事業区分		ソフト		

5	事業名	【再掲】エリアマネジメント推進検討事業												
	目的 及び 概要	既成市街地や新たな開発において、住民・事業者・地権者等の地域の担い手が主体となった将来の維持管理や運営(マネジメント)等の地域を育てる取組を推進する。 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①関係部署・関係機関との協議 ②市民・民間との連携・協働					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分		一般		事業区分		ソフト		

6	事業名	【再掲】茨木市中心市街地活性化事業												
	目的 及び 概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①中心市街地活性化協議会開催・協議調整 ②内閣府との協議・パブリックコメント・認定申請に向けた計画書の精査 ③推進体制の確立に向けた調整					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分		一般		事業区分		ソフト		

7	事業名	【再掲】次なる茨木・グランドデザイン推進事業												
	目的 及び 概要	中心市街地におけるまちの将来像を描いた「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、多くの市民や多様な主体と共有・発展しながらつくりあげる。 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①市民とのワークショップ ②専門家の助言 ③まちづくりの担い手との意見交換 ④産官学民の連携					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
							方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	(0.4)	うち市負担分 (百万円)	(0.4)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分		一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-4-2		★ 彩都の都市づくり													
8	事業名		◎ 彩都建設推進事業														
	目的 及び 概要	大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H30年度	内 容	①交番の設置要望 ②(東部地区)先行エリアの事業推進 ③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み						事業の方向性の見込み (対前年度比)				
													H31年度	継続			
													H32年度	継続			
													H33年度	継続			
													方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	2.2	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト								
9	事業名		【再掲】山麓線整備事業														
	目的 及び 概要	市域山麓部の東西交通と彩都地区のアクセスの円滑化を図るため、彩都や安威川ダムの事業進捗に合わせ、府道茨木亀岡線から彩都東部地区、府道忍頂寺福井線、府道余野茨木線を経て、中部地区、西部地区へと至る道路の整備を行う。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】			H30年度	内 容	①委 託 C= 3.0百万円 ②工 事 C=250.0百万円 ③負担金 C= 2.0百万円						事業の方向性の見込み (対前年度比)				
													H31年度	完了			
													H32年度	-			
													H33年度	-			
													方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(255)	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード								
10	事業名		谷山水路整備事業														
	目的 及び 概要	彩都東部地区の一部エリアの事業化に伴い、区域外の雨水放流先となる谷山水路の流下能力が不足しているため、下流河川(佐保川)と同程度の流下能力(10年確率)とするための整備を行う			H30年度	内 容	①水路整備工事 ②水路及び管理道路用地購入 ③公共嘱託登記						事業の方向性の見込み (対前年度比)				
													H31年度	完了			
													H32年度	-			
													H33年度	-			
													方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	69.0	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	一般		事業区分	ハード								
取 組		5-4-3		適切な開発や建築物・土地利用の誘導													
11	事業名		都市計画決定等事務事業														
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定等を行う。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H30年度	内 容	①都市計画決定等						事業の方向性の見込み (対前年度比)				
													H31年度	継続			
													H32年度	継続			
													H33年度	継続			
													方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.2	うち市負担分 (百万円)
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト								

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	細街路等整備事業											
	目的 及び 概要	開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画及び生活道路整備に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進め、良好な住環境を創出する。 【関連取組:5-5-1 快適で良好な住環境の形成】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①用地購入費(32.3百万円) ②整備補助金(20.7百万円) ③公嘱(1.2百万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	54.2	うち市負担分 (百万円)	54.2	H34 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
13	事業名	開発行為等連絡協議会事務事業											
	目的 及び 概要	無秩序な都市化を防止し、適正な開発を図り、都市計画の推進及び環境との調和創出するため、一定規模以上の建築を目的とする開発行為に対し協議調整を行う。	H 30 年度	内 容	①開発行為等連絡協議会の開催(0.0百万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる
施策の方向性	市民、事業者等による開発や施設の管理が良好な環境を形成することを基本に、住みよいまちを創るため、計画の共有、ルール作成、適正な運用と適時適切な見直し、住民への支援などを行い、快適な住環境や美しい街並みが魅力的で将来にわたり住み続けたいまちをめざします。 また、緑地の適正な保全と緑化を推進し、自然とのふれあいやみどりをいかしたうるおいのある環境づくりをめざします。	
★：重点プラン 該当取組	1	快適で良好な住環境の形成
	2	都市におけるみどりの形成
	3	★ 良好な景観の保全と創造
	4	良好な住宅ストックの形成
	5	公的住宅の改善・充実
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-1		快適で良好な住環境の形成										
1	事業名 【再掲】細街路等整備事業													
	目的 及び 概要	開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画及び生活道路整備に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進め、良好な住環境を創出する。 【関連取組：5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組：5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年 度	内 容	①用地購入費(32.3百万円) ②整備補助金(20.7百万円) ③公囑(1.2百万円)						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年 度	継続
													H32 年 度	継続
													H33 年 度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(54.2)	うち市負担分 (百万円)	(54.2)	H34 年 度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
2	事業名 中高層建築物事前協議等事業													
	目的 及び 概要	生活環境の保全や良好な近隣関係を形成するため、茨木市開発指導要綱及び茨木市中高層建築物に係る紛争の防止及び調整に関する指導要綱に基づく協議を行う。			H 30 年 度	内 容	①建築主による関係住民への建築計画内容等の説明を指導(0.0百万円) ②要綱に基づく協議(0.0百万円) ③建築に伴って生じる紛争について当事者からの申し出により「あっせん」を行う(0.0百万円)						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年 度	継続
													H32 年 度	継続
													H33 年 度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年 度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
3	事業名 建築基準法制度活用事業													
	目的 及び 概要	快適で良好な住環境の形成を図るとともに、老朽化・密集化した建築物等の円滑な建替えと周辺環境への配慮が両立するよう、建築協定や地区計画条例など建築基準法の諸制度の活用を促進する。			H 30 年 度	内 容	①老朽化したマンションや病院等の建替え相談において、建築基準法の諸制度の活用を紹介(0.0百万円)						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年 度	継続
													H32 年 度	継続
													H33 年 度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年 度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名		高度地区運用事務事業													
	目的 及び 概要		良好な住環境を維持・保全するため、市街化区域内は高度地区が定められ、建築物の高さが制限されているが、空地を多く確保するなどの一定の基準を満足する、良好な市街地環境が形成されるように配慮された建築物について、特例許可により高さ制限の緩和を行う。	H 30 年 度	内 容	①特例許可申請書の審査を行い、建築審査会の意見を聞いた上で許可処分を行う(0.0百万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
													H31 年度	継続		
													H32 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続				
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	歳入								
取 組		5-5-2	都市におけるみどりの形成													
5	事業名		公園等再整備事業													
	目的 及び 概要		整備後、相当年数が経過している公園について、公園施設長寿命化計画に基づき、順次、住民ニーズや地域の実情に即した再整備を実施していく。	H 30 年 度	内 容	①公園再整備等 5箇所(沢良宜公園、美沢公園、真砂2号公園、上穂東公園、沢良宜浜一丁目公園) 97百万円 ②地元調整 ③実施設計 10百万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
													H31 年度	継続		
													H32 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	107.0	うち市負担分 (百万円)	67.0	H33 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード								
6	事業名		公園整備事業													
	目的 及び 概要		当該公園の所在する付近住民及び各施設利用者が、身近で安全な空間と快適な環境を確保できるよう、地域の公園利用の実態により、公園の整備や改良を行う。	H 30 年 度	内 容	(臨)①元茨木川緑地リ・デザイン基本方針の策定 599万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
													H31 年度	継続		
													H32 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	6.0	うち市負担分 (百万円)	6.0	H33 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード								
7	事業名		若園公園バラ園再整備事業													
	目的 及び 概要		若園公園バラ園において、バラ苗木の老化による樹勢の衰えが顕著となっているため、苗木の更新及び植栽基盤の整備と併せ地下透水管等の施設の再整備を実施する。	H 30 年 度	内 容	①苗木更新、植栽基盤整備 900万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
													H31 年度	完了		
													H32 年度	-		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	9.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	-				
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード								

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	公園施設長寿命化対策事業													
	目的 及び 概要	公園等の施設の長寿命化を図る。 (長寿命化のための公園施設データの収集・ 整理・保管・更新のためのシステム構築な ど。)				H 30 年度	内 容	①保守管理 40万円 (臨)②公園施設長寿命化計画の策定(その2) 800 万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	8.4	うち市負担分 (百万円)	4.4	H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部		課名	公園緑地課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

9	事業名	さくらまつり実施事業													
	目的 及び 概要	身近な自然に親しむ場や交流、レクリエー ションの場を提供することで、豊かな環境を啓 発するとともに、市民の連帯感やふるさと意識 の充実を高め、まちの活性化を図る。 市の魅力ある資源として桜の魅力をいっそう 引き出していくため、平成29年度より元茨木 川緑地のリニューアルについて業務委託によ る検討を行い、様々な種類の桜をより自然な 状態で楽しむことができるよう、有識者を交え たシンポジウムや市民ワークショップを開催し て検討を進める。				H 30 年度	内 容	①市民活動や市民主体の催しの場としての活用を 関係課と検討 ②周辺住民に配慮し改善して実施 ③自然な状態で桜を楽しめるよう改善					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	16.0	うち市負担分 (百万円)	16.0	H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
	担当課	部名	建設部		課名	公園緑地課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

10	事業名	【再掲】緑の基本計画推進事業													
	目的 及び 概要	緑の将来像の実現に向けて、緑地の適正な 保全及び緑化の推進に関する目標や取り組 み方針、施策等を定め、総合的かつ計画的 に実施する。 【関連取組:6-2-1 都市とみどりの共存】				H 30 年度	内 容	①緑の相談事業 27万円 ②情報発信ツールの作成 ③緑化講習会の実施 25万円 ④緑化イベントの検討 ⑤緑化の人材育成講座の検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(0.5)	うち市負担分 (百万円)	(0.5)	H31 年度	拡充
														H32 年度	継続
														H33 年度	拡充
														H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

11	事業名	新名神周辺遊歩道等整備事業													
	目的 及び 概要	市民に北部地域の自然等の魅力を実感して もらい、北部地域への関心を高めるため、地 域住民、ボランティア団体と連携し、回遊路・ 施設案内板等の整備を行う。				H 30 年度	内 容	①回遊路の維持管理 ②展望台の維持管理 ③ビオトープの維持管理					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
	担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分		ハード	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	ダムサイト周辺遊歩道等整備事業													
	目的 及び 概要	水源地域整備計画に基づき、安威川ダム周 辺の遊歩道等を整備する。				H 30 年 度	内 容	H32年度実施予定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H31 年度	継続
														H32 年度	完了
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	-
	担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

13	事業名	景観賞表彰及び記念講演事業													
	目的 及び 概要	本市の良好な景観形成に関する市民意識の 高揚を図るため、建築物やまちなみ及び市民 等による活動等に対する表彰と記念講演を概 ね5年毎に実施する。(次回、H31年度実施 予定)				H 30 年 度	内 容	H31年度実施予定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

取 組	5-5-3	★ 良好な景観の保全と創造												
-----	-------	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

14	事業名	屋外広告物指導事業													
	目的 及び 概要	屋外広告物は、景観形成に対する影響が大 きいことから適切な誘導が重要であり、茨木 市景観計画、景観条例と整合を図りながら、 建築物等と一体となった景観誘導を進めるた め、地区の特性やまちづくりの方向性を踏ま えて、屋外広告物の設置を適切に誘導し、良 好な景観形成を図る。				H 30 年 度	内 容	①屋外広告物の制限の必要性について検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

15	事業名	景観重要建造物等指定事業													
	目的 及び 概要	本市の良好な景観形成を推進するため、景 観上重要な建造物、樹木、公共施設を指定 する。				H 30 年 度	内 容	①景観上保全が必要な対象物があれば指定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名		景観形成推進事務事業										
	目的 及び 概要		都市景観整備を総合的かつ計画的に推進するため、建築行為等について、茨木市景観計画及び景観条例に基づき協議、指導等を行い、屋外広告物については、大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の設置、掲出に対して設置場所や大きさの審査を行い、設置申請に許可をする。	H 30 年度	内 容	①景観の事前協議、届出受付 ②屋外広告物の許可						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続						
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

17	事業名		【再掲】既存民間建築物耐震化補助事業										
	目的 及び 概要		地震災害から市民の生命及び財産を守るため、民間の住宅・特定建築物の耐震診断費用及び木造住宅、共同住宅の耐震改修費用の一部を補助する。 【4-1-3:建築物の耐震化の促進】	H 30 年度	内 容	①木造住宅等の耐震診断・改修補助を行う。 ②非木造住宅・特定建築物の耐震診断補助を行う。 ③共同住宅の耐震改修・除却補助を行う。						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(15.4)	うち市負担分 (百万円)	(5.1)	H34 年度	継続						
担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

取 組	5-5-4	良好な住宅ストックの形成									
-----	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

18	事業名		居住マスタープラン策定事業										
	目的 及び 概要		人口減少、少子・高齢化等に伴う社会状況の変化や活力低下、また、建築物の老朽化等による災害リスクの増大などの課題に対応するため、市民生活の基盤である住宅や住環境の維持・充実と定住促進を図る計画として、本市の住宅政策の方針と施策を示し、市民の暮らしの充実と安定した住生活の実現を目指す。	H 30 年度	内 容	①住宅施策の方針等の検討、整理 ②成果指標、計画推進方策等の検討 ③パブコメ ④居住マスタープランの作成						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	6.3	うち市負担分 (百万円)	6.3	H34 年度	継続						
担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

19	事業名		多世代近居・同居支援事業										
	目的 及び 概要		多世代の近居・同居に向けた住宅取得やリフォームに対して補助を行うことで、多世代が支えあって暮らせるまちづくりを進め、子育てや介護など、各世代が抱える不安の軽減を図るとともに、定住促進を図る。	H 30 年度	内 容	①茨木市多世代近居・同居支援事業補助の実施						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	15.0	うち市負担分 (百万円)	15.0	H34 年度	継続						
担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

20	事業名	長期優良住宅認定事務事業														
	目的 及び 概要	長期にわたり良好な状態で使用されるための措置が講じられた優良な住宅の普及を促進することにより、住生活の向上及び環境への負荷の軽減を図るため、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき、長期優良住宅建築等計画の認定を行う。	H 30 年 度	内 容	①長期優良住宅新築等計画の審査をし、認定を行う。(0.0百万円) ②認定を受けた長期優良住宅で一定の年数が経過したものについて、維持保全状況の報告を求める。(0.0百万円)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
					H31 年度		継続									
					H32 年度		継続									
					H33 年度		継続									
					方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		0.0		うち市負担分 (百万円)		0.0	
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分		一般		事業区分		ソフト			
21	事業名	市営住宅長寿命化計画推進事業														
	目的 及び 概要	市営住宅を安全で安心な住まいとして長期間にわたって確保するため、耐震改修や長寿命化改善など適切な維持管理を実施することにより、効率的・効果的な活用に努める。	H 30 年 度	内 容	①平成29年度に改修設計を行った棟の外壁改修、屋上防水工事等を実施(2棟)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
					H31 年度		継続									
					H32 年度		継続									
					H33 年度		継続									
					方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		120.0		うち市負担分 (百万円)		99.0	
担当課	部名	建設部		課名	建築課		会計区分		一般		事業区分		ハード			

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取 組		5-5-2		都市におけるみどりの形成						
E1	事業名	岩倉公園防災公園街区整備事業(平成29年度事業完了)								
	目的 及び 概要	独立行政法人都市再生機構(UR)による防災公園街区整備事業の活用により、当該地域の防災機能の強化をはかるとともに、都市景観の向上や市民の憩いの場としての総合的な公園機能の充実を図るため、URが工場跡地の一部を取得し、防災公園と市街地整備を行ったもので、URより用地の買戻を行う。								
	担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード	

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる
施策の方向性	将来にわたって住み続けたい、さらに活力ある都市として成長・発展させていくという視点から都市構造を捉え、生活を支える都市機能を維持・向上させるとともに、中心部における魅力ある地域、拠点への再生、北部地域をはじめとする豊かな文化、自然資源等をいかし効果を高める取組などにより、これからの時代を先導する活力あるまちづくりを進めます。	
★：重点プラン 該当取組	1	★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)
	2	★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備
	3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり
	4	★ 北部地域の魅力向上
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-6-1		★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)										
1	事業名 ◎ 立地適正化計画策定事業													
	目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①パブリックコメント等の実施 ②立地適正化計画の策定						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	4.8	うち市負担分(百万円)	2.3	H34年度	継続		
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
2	事業名 ◎ 【再掲】茨木市中心市街地活性化事業													
	目的 及び 概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①中心市街地活性化協議会開催・協議調整 ②内閣府との協議・パブリックコメント・認定申請に向けた計画書の精査 ③推進体制の確立に向けた調整						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0)	うち市負担分(百万円)	(0)	H34年度	継続		
担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
3	事業名 ◎ 【再掲】次なる茨木・グランドデザイン推進事業													
	目的 及び 概要	中心市街地におけるまちの将来像を描いた「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、多くの市民や多様な主体と共有・発展しながらつくりあげる。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①市民とのワークショップ ②専門家の助言 ③まちづくりの担い手との意見交換 ④産官学民の連携						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
													H31年度	継続
													H32年度	継続
													H33年度	継続
					方向性(対前年度比)	新規	事業費(百万円)	(0.4)	うち市負担分(百万円)	(0.4)	H34年度	継続		
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-6-2		★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備									
4	事業名 ◎【再掲】市民会館跡地エリア活用事業(ソフト)												
目的 及び 概要	閉館した市民会館の跡地エリアについて、市民との対話を基本に、市中心部に位置するという立地や、社会情勢、政策課題などをふまえ、その活用を検討、推進する。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:7-2-4 公共施設等の計画的な整備と有効活用】			H 30 年度	内 容	①基本計画策定・PPP手法導入可能性調査 ②実施方針作成 ③育てる広場実現への取組(ワークショップ、社会実験の実施)						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	臨時 拡充
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
	方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	(33.5)	うち市負担分 (百万円)	(21.7)	H34 年度	継続					
担当課	部名	企画財政部		課名	市民会館跡地活用推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		
5	事業名 ◎【再掲】市民会館跡地エリア活用事業(ハード)												
目的 及び 概要	閉館した市民会館の跡地エリアについて、市民との対話を基本に、市中心部に位置するという立地や、社会情勢、政策課題などをふまえ、その活用を検討、推進する。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:7-2-4 公共施設等の計画的な整備と有効活用】			H 30 年度	内 容	①元市民会館・福祉文化会館・人工台地解体設計(48.6百万円) ②元市民会館・人工台地解体工事						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	拡充
												H33 年度	継続
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(48.6)	うち市負担分 (百万円)	(48.6)	H34 年度	臨時 拡充					
担当課	部名	企画財政部		課名	市民会館跡地活用推進課		会計区分	一般		事業区分	ハード		
6	事業名 【再掲】小売店舗改築(改装)補助事業												
目的 及び 概要	市内の商工業施設の活性化を促進するため、市民や法人が市内で所有又は賃借している小売店舗等(小売業、飲食店、理・美容業、療術業)の改築・改装工事に対して、対象経費の1/2(限度額50万円)を補助する。また、商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店を行う場合も改築・改装費用の一部を補助する。 【関連取組:5-1-3 商業の活性化】			H 30 年度	内 容	①市内で小売業、飲食業、理・美容業、療術業を営んでいる市民又は市内法人が、小売店舗の改築・改装する場合に補助金を支給 ②商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店する事業者が、小売店舗の改築・改装を行う場合に補助金を支給						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
	方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(6.5)	うち市負担分 (百万円)	(6.5)	H34 年度	継続					
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		
7	事業名 【再掲】創業促進事業												
目的 及び 概要	本市における創業を促進するため、創業促進事業補助制度(市内で創業する者にテナント賃借料・改装工事費・法人設立に要する経費の一部を補助)、特定創業支援事業(民間の創業支援事業者と連携した創業者支援)をはじめとした創業支援を実施する。 【関連取組:5-2-1 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成】			H 30 年度	内 容	①市内で営利を目的とした事業を創業・拡大する者に対して補助金を支給(制度を拡充) ②民間の創業支援事業者と連携して、創業希望者に必要な知識を習得するための支援を行い、証明書を発行する。 ③女性向け起業セミナー(入門編・実践編)の実施及び入門編の継続必要性を検討 ④学生の起業に対する関心を高めるセミナーの実施 ⑤大阪市内で起業志望者誘致セミナーを実施 ⑥起業志望者にチャレンジの場を提供する取組の検討						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
	方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(21.3)	うち市負担分 (百万円)	(20.6)	H34 年度	継続					
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	【再掲】商工会議所事業補助												
	目的 及び 概要	市内の新産業の創出・育成並びに既存産業の成長・発展を促進するため、茨木商工会議所が行う市内産業の総合的発展に資する事業に対して補助金を交付する。 【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】				H 30 年度	内容	①茨木商工会議所が行う、地域産業活性化事業、中小企業相談所事業及び創業支援ネットワーク事業に補助金を交付					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(13.4)	うち市負担分 (百万円)	(13.4)	H31 年度	継続
												H32 年度	継続	
												H33 年度	継続	
												H34 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

9	事業名	【再掲】立地適正化計画策定事業												
	目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 30 年度	内容	①パブリックコメント等の実施 ②立地適正化計画の策定					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(4.8)	うち市負担分 (百万円)	(2.3)	H31 年度	継続
												H32 年度	継続	
												H33 年度	継続	
												H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

10	事業名	◎ 次なる茨木・グランドデザイン推進事業												
	目的 及び 概要	中心市街地におけるまちの将来像を描いた「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、多くの市民や多様な主体と共有・発展しながらつくりあげる。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 30 年度	内容	①市民とのワークショップ ②専門家の助言 ③まちづくりの担い手との意見交換 ④産官学民の連携					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H31 年度	継続
												H32 年度	継続	
												H33 年度	継続	
												H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

11	事業名	◎ 茨木市中心市街地活性化事業												
	目的 及び 概要	中心市街地の活性化を図るため「中心市街地活性化に関する法律」に基づく「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 30 年度	内容	①中心市街地活性化協議会開催・協議調整 ②内閣府との協議・パブリックコメント・認定申請に向けた計画書の精査 ③推進体制の確立に向けた調整					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H31 年度	継続
												H32 年度	継続	
												H33 年度	継続	
												H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	◎ 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業												
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、 交通結節点の機能強化とともに、多くの市民 が集える空間として、活性化を図り、魅力ある まちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】	H 30 年 度	内 容	①事業基本計画 2,297万円 1測量業務(駅前広場・道路・駅前ビル) 2基本設計作成(駅前広場・交差点等) 3関係機関との協議 4事業採択時評価 5東口周辺のあり方検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H31 年度		継続		H32 年度		継続			
					H33 年度		継続		H34 年度		継続			
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

13	事業名	◎ JR茨木駅西口駅前周辺整備事業												
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、 交通結節点の機能強化とともに、多くの市民 が集える空間として、活性化を図り、魅力ある まちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】	H 30 年 度	内 容	①基本計画策定等 1,488万円 1まちづくり協議会運営 2公共施設・施設建築物基本計画 3関係機関協議						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H31 年度		継続		H32 年度		継続			
					H33 年度		継続		H34 年度		継続			
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

14	事業名	◎ JR茨木駅構内エスカレーター整備事業												
	目的 及び 概要	JR茨木駅利用者の利便性向上ならびに本市 の玄関口としてのイメージアップやにぎわい 創出を図るため、駅構内におけるエスカレー ター設置等を行うとともに、本事業により暫定 整備となっている東口駅前広場上部デッキ底 部分ならびに駅前広場の交差点整備を行う。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】	H 30 年 度	内 容	①駅構内エスカレーター整備負担金 1億4,240万 円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H31 年度		-		H32 年度		-			
					H33 年度		-		H34 年度		-			
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

取 組	5-6-3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり											
-----	-------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

15	事業名	阪急総持寺駅西口駅前交通広場整備事業												
	目的 及び 概要	平成30年春にJR総持寺駅が開業することから、その整備効果をより活かすため、阪急総持寺駅西口に駅前交通広場を整備することにより、総持寺地域の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図る。	H 30 年 度	内 容	①委託 C= 15.0百万円 (物件調査N=1, 公共嘱託登記) ②補償 C= 7.0百万円 (借家人補償N=1)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H31 年度		継続		H32 年度		完了			
					H33 年度		-		H34 年度		-			
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	JR総持寺駅整備事業											
	目的 及び 概要	平成30年春、JR京都線摂津富田・茨木間に 新駅設置と周辺整備を行うことで、交通利便 性の向上と都市機能の充実・強化を図る。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】	H 30 年 度	内 容	①工事進入路の撤去、借地等用地処理、通信機 械等設置						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	-	
											H32 年度	-	
					方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	145.6	うち市負担分 (百万円)	94.1	H33 年度	-	
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ハード				
取 組	5-6-4	★ 北部地域の魅力向上											
17	事業名	◎ 北部魅力アップ事業											
	目的 及び 概要	本市北部地域にある緑豊かな自然環境や歴史環 境、現在事業推進している安威川ダム、新名神高 速道路、彩都の大規模プロジェクトなどの資源をつ なぐとともに、地域課題や地域のあり方も踏まえ、北 部地域の魅力向上を図るための検討と取組を地域 や関係団体とともに進める。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年 度	内 容	①まちづくり連携事業 ・(70)「いばきた」フォトサイクリングの実施 ・いばきたデザインプロジェクトの実施 ・いばきたマルシェの開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.3	うち市負担分 (百万円)	5.3	H33 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
18	事業名	◎ ダム周辺整備事業											
	目的 及び 概要	早期の治水効果発現を目指して建設中の安 威川ダムにおいて、ダム完成後の周辺の魅 力向上につながる整備を実施するための取り 組みを進める。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】	H 30 年 度	内 容	①民間事業者とのヒアリング ②安威川ダム周辺整備基本構想とりまとめ ③事業者公募開始						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	36.5	うち市負担分 (百万円)	21.4	H33 年度	完了	
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード				
19	事業名	【再掲】公共交通対策事業(ハード)											
	目的 及び 概要	将来の交通体系づくりの基本理念、基本方針 に基づき、9のテーマと短、中期及び長期で 実施する20の交通施策に取組み、目標とする 「まちの将来像」を実現する。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】	H 30 年 度	内 容	①市民の移動利便性向上に向けた施策の検討 ②移動困難者への支援のあり方、方策の検討 ③鉄道駅可動式ホーム柵整備に対する補助金: 16.7百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(16.7)	うち市負担分 (百万円)	(16.7)	H33 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名	【再掲】ダム推進事業													
	目的 及び 概要	安威川流域住民の生命と財産を守り、安全なまちづくりの推進に必要な安威川ダムについて、大阪府等と連携を図り、事業の建設促進を図る。 【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】				H 30 年度	内容	①建設促進						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	完了	
													H34 年度	-	
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

21	事業名	【再掲】新名神周辺道路等整備事業													
	目的 及び 概要	新名神関連事業として、千提寺地区の自然環境、歴史、文化資源等の恵まれた地域資源を活かして、都市住民との交流を促進する空間を整備することにより地域の活性化を図る。また、新名神高速道路の供用開始に伴い通過交通が増加するため、市道の拡幅を行うことにより歩行者、車両等の安全を確保する。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】				H 30 年度	内容	①市道泉原千提寺線道路改良事業 委託料 C=0百万円 用地費 C=0百万円 補償費 C=0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分		一般		事業区分		ハード	

22	事業名	【再掲】千提寺菱ヶ谷遺跡史跡整備事業													
	目的 及び 概要	千提寺菱ヶ谷遺跡の歴史的資産としての価値を評価するために調査を行い、北部地域活性化の一つの拠点としても活用するため、史跡指定に向けて取り組む。 【関連取組:3-3-4 歴史遺産の保存・継承】				H 30 年度	内容	①埋蔵文化財確認調査 194万円 ②科学分析 18万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
								方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	(2.2)	うち市負担分 (百万円)	(1.1)	H31 年度	-
													H32 年度	-	
													H33 年度	-	
													H34 年度	-	
	担当課	部名	教育総務部		課名	歴史文化財課		会計区分		一般		事業区分		ハード	

23	事業名	【再掲】ダム周辺道路整備事業													
	目的 及び 概要	水源地域整備計画に基づき、安威川ダム周辺の道路整備事業を推進する。 【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】				H 30 年度	内容	①スポレク関連道路事業(車作1号線) C=60.0百万円 ②大岩9号線(ダム関連)C=100.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(160)	うち市負担分 (百万円)	(41.7)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	完了	
													H34 年度	-	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分		一般		事業区分		ハード	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

過去の実施計画期間中で完了、廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取 組		5-6-3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり							
E1	事業名	JR総持寺駅開業記念式典の実施(新規追加)(平成29年度で完了)								
	目的 及び 概要	東海道本線 摂津富田・茨木間に建設中であるJR総持寺駅の平成30年春開業を記念し、関係者を招き、新駅開業及び駅前広場、自由通路等周辺整備の完成を祝う式典を、JR西日本との共同開催にて行う。								
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる
施策の方向性	限られた資源を有効に活用し、地域内で循環する省エネルギー型の都市をめざすとともに、誰にもやさしい福祉のまちづくりや、既存のストックの活用や施設の長寿命化などを進めていきます。これにより、将来にわたって住み続けることができるまちをめざします。 今後も増加すると懸念される空き家については、所有者への働きかけを行うほか、まちづくりへの活用をめざします。	
★：重点プラン 該当取組	1	環境負荷の低減
	2	★ 誰にも優しいまちづくりの推進
	3	危険家屋・老朽マンション対策
	4	都市計画施設の見直し
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-7-1		環境負荷の低減										
1	事業名		低炭素都市づくり推進事業											
	目的 及び 概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
											H34 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
2	事業名		【再掲】都市計画決定等事務事業											
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①都市計画決定等						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
											H34 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.2)	うち市負担分 (百万円)	(1.2)	H34 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
3	事業名		【再掲】エリアマネジメント推進検討事業											
	目的 及び 概要	既成市街地や新たな開発において、住民・事業者・地権者等の地域の担い手が主体となった将来の維持管理や運営(マネジメント)等の地域を育てる取組を推進する。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①関係部署・関係機関との協議 ②市民・民間との連携・協働						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
											H34 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H34 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-7-2		★ 誰にも優しいまちづくりの推進										
4	事業名 ◎ バリアフリー化推進事業(ソフト)													
	目的 及び 概要	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に基づき、旅客施設や病院、福祉施設など高齢者や障害者等が利用する施設が集まった地区(重点整備地区)のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①バリアフリー基本構想に基づいた取組の進行管理						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続							
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
5	事業名 ◎ バリアフリー化推進事業(ハード)													
	目的 及び 概要	バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、重点整備地区の道路などのバリアフリー化に取り組む。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①工事 ・生活関連経路 市道駅前一丁目学園南線ほか C=20.7百万円 ・総合案内表示板 C= 2.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	22.7	うち市負担分 (百万円)	12.3	H34 年度	継続							
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード					
6	事業名 福祉のまちづくり事業													
	目的 及び 概要	高齢者や障害者が、安全で気軽にあらゆる社会に参画し、自らの意思で自由に行動できるよう、都市施設のうち大阪府福祉のまちづくり条例に基づく基準適合努力義務対象建築物について、事前協議を行う。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①事前協議書の受領・審査及び完了届出書の審査(0.0百万円)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
取 組		5-7-3		危険家屋・老朽マンション対策										
7	事業名 空家対策事業													
	目的 及び 概要	少子高齢化や人口減少の進行により、今後空家の増加が懸念されるため、「茨木市空家等対策計画」に基づき、空家化を抑制すると共に、空家の適正管理、利活用を促進する。	H 30 年度	内 容	①協議会の運営 ②空家バンクの運用 ③補助金の創設、運用						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	臨時 拡充		
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	6.4	うち市負担分 (百万円)	6.4	H34 年度	縮小							
担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名		マンション建替円滑化等事務事業															
	目的 及び 概要	マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などに対する支援を行います。			H 30 年度	内 容	①老朽化したマンションの適正管理や建替事業にともなう建替組合の設立などに対する支援を行う。							事業の方向性の見込み (対前年度比)				
														H31 年度	継続			
														H32 年度	継続			
														H33 年度	継続			
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H34 年度	継続					
担当課	部名	都市整備部		課名	居住政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト					
9	事業名		建築物維持保全指導事業															
	目的 及び 概要	良好な居住環境を保全するため、適法に維持保全されていない建築物の所有者等に適法な状態を継続的に保つよう指導を行う。			H 30 年度	内 容	①建物維持保全指導(0.0百万円) ②文書指導(0.0百万円)							事業の方向性の見込み (対前年度比)				
														H31 年度	継続			
														H32 年度	継続			
														H33 年度	継続			
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H34 年度	継続					
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分		一般		事業区分		ソフト					
取 組		5-7-4		都市計画施設の見直し														
10	事業名		【再掲】都市計画決定等事務事業															
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①都市計画決定等							事業の方向性の見込み (対前年度比)				
														H31 年度	継続			
														H32 年度	継続			
														H33 年度	継続			
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.2)	うち市負担分 (百万円)	(1.2)	H34 年度	継続					
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト					

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる
施策の方向性	国土軸に位置する優位性をさらにいかしていくとともに、平成25年度に策定した総合交通戦略に基づき、「住みやすい・移動しやすい」まちづくりのため、道路ネットワークの充実と強化、公共交通の利用促進や歩行者・自転車空間の安全性の向上等の総合的な交通施策を進めます。	
★:重点プラン 該当取組	1	★ 公共交通の維持・充実
	2	★ 道路整備の推進
	3	駐車場・駐輪場の充実
	4	歩行者、自転車利用環境の整備
	5	★ 交通安全対策の推進
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-8-1		★ 公共交通の維持・充実										
1	事業名 ◎ 公共交通対策事業(ハード)													
	目的 及び 概要	将来の交通体系づくりの基本理念、基本方針に基づき、9のテーマと短、中期及び長期で実施する20の交通施策に取組み、目標とする「まちの将来像」を実現する。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】				H 30 年 度	内 容	①市民の移動利便性向上に向けた施策の検討 ②移動困難者への支援のあり方、方策の検討 ③鉄道駅可動式ホーム柵整備に対する補助金:16.7百万円					事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年 度	継続
													H32 年 度	継続
													H33 年 度	継続
	方向性 (対前年度比)		拡充	事業費 (百万円)	16.7	うち市負担分 (百万円)	16.7	H34 年 度	縮小					
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					
2	事業名 ◎ 公共交通対策事業(ソフト)													
	目的 及び 概要	将来の交通体系づくりの基本理念、基本方針に基づき、9のテーマと短、中期及び長期で実施する20の交通施策に取組み、目標とする「まちの将来像」を実現する。				H 30 年 度	内 容	①地域バス路線維持費補助金(1.5百万円) ②市民の移動支援の検討(0百万円)					事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年 度	継続
													H32 年 度	継続
													H33 年 度	臨時 拡充
	方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.5	うち市負担分 (百万円)	1.5	H34 年 度	継続					
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
3	事業名 ◎ 茨木市総合交通戦略事業													
	目的 及び 概要	本市にふさわしい交通のあり方の実現に向け、市民、交通事業者、関係機関など多様な主体との協働により、計画的に交通施策を推進する。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 30 年 度	内 容	①計画の進行管理 ②計画に位置づけられている短・中期施策の実施 ③短期(概ね5年)で実施した施策を検証するとともに中期で実施する施策について中間検証を行い、必要に応じて計画を見直す。					事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H31 年 度	臨時 拡充
													H32 年 度	継続
													H33 年 度	継続
	方向性 (対前年度比)		臨時 拡充	事業費 (百万円)	3.7	うち市負担分 (百万円)	3.7	H34 年 度	継続					
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-8-2		★ 道路整備の推進													
4	事業名		山麓線整備事業														
	目的 及び 概要	市域山麓部の東西交通と彩都アクセスの円滑化を図るため、彩都や安威川ダムの事業進捗に合わせ、府道茨木亀岡線から彩都東部地区、府道忍頂寺福井線、府道余野茨木線を経て、中部地区、西部地区へと至る道路の整備を行う。 【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】				H 30 年度	内 容	①委 託 C= 3.0百万円 ②工 事 C=250.0百万円 ③負担金 C= 2.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)			255.0	うち市負担分 (百万円)	127.7	H31 年度	完了					
										H32 年度	-						
										H33 年度	-						
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード						
5	事業名		新名神周辺道路等整備事業														
	目的 及び 概要	新名神関連事業として、千提寺地区の自然環境、歴史、文化資源等の恵まれた地域資源を活かして、都市住民との交流を促進する空間を整備することにより地域の活性化を図る。また、新名神高速道路の供用開始に伴い通過交通が増加するため、市道の拡幅を行うことにより歩行者、車両等の安全を確保する。 【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】				H 30 年度	内 容	①市道泉原千提寺線道路改良事業 委託料 C=0百万円 用地費 C=0百万円 補償費 C=0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)			0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H31 年度	継続					
										H32 年度	継続						
										H33 年度	継続						
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード						
6	事業名		JR総持寺駅周辺整備事業														
	目的 及び 概要	JR京都線摂津富田・茨木間に新駅が設置されることを受け、利用者の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図るため、駅前周辺道路等の整備を行う。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 30 年度	内 容	①庄中央線 C=216.5百万円 ②総持寺駅前線 C=261.9百万円 ③公囁 C= 10.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)			488.4	うち市負担分 (百万円)	227.0	H31 年度	継続					
										H32 年度	完了						
										H33 年度	-						
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード						
7	事業名		道路新設・改良事業(補助分)														
	目的 及び 概要	歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、国からの補助採択を受けて、用地買収、歩道整備や車道の拡幅及び交差点改良を行う。				H 30 年度	内 容	①市道宿久庄二丁目安威一丁目線 C=15.0百万円 ②市道天王一丁目沢良宜西二丁目線 C=115.3百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)			130.3	うち市負担分 (百万円)	94.0	H31 年度	継続					
										H32 年度	継続						
										H33 年度	継続						
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名	道路新設・改良事業(単独分)												
	目的 及び 概要	歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、市の単独事業として現道に沿って歩道及び車道の拡幅整備を行う。			H 30 年度	内 容	①大住町地区内線（土地開発公社） ②安元地区内線 C=113.1百万円 ③市道高田町豊川四丁目線 C=23.0百万円 ④星見町玉島線 C= 4.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード						
9	事業名	橋梁新設改良事業												
	目的 及び 概要	橋梁耐震診断の結果を基に、補強・補修することにより、地震発生時における安全を確保するとともに、老朽化橋梁の架け替えや改良を実施する。			H 30 年度	内 容	①野々宮3号線(あけぼの橋) C=97.6百万円 ②橋梁耐震補強(工事) C=0百万円 ③橋梁耐震補強(設計委託) C=0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード						
10	事業名	橋梁維持事業												
	目的 及び 概要	本市管理橋梁の定期的な点検及び計画的な維持修繕を継続的に実施することにより、橋梁を常に健全な状態に保ち、歩行者及び車輛の通行の安全を確保するとともに、予防保全による計画的修繕(長寿命化修繕)を実施することによりコストの削減を図るため、計画的な維持修繕を実施する。			H 30 年度	内 容	①工事 C=60.0百万円 ②負担金(定期点検) C=50.6百万円 ③委託(設計委託) C=16.0百万円 ④長寿命化修繕計画策定 C=10.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
													方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード						
11	事業名	◎【再掲】ダム周辺道路整備事業												
	目的 及び 概要	水源地域整備計画に基づき、安威川ダム周辺の道路整備事業を推進する。 【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】 【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】			H 30 年度	内 容	①スポレク関連道路事業(車作1号線) C=60.0百万円 ②大岩9号線(ダム関連)C=100.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	完了
													方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	駅前太中線整備事業(第4工区)											
	目的 及び 概要	市街地中心部における交通の円滑化や歩行者の安全確保等、交通環境の向上を図るため、市内を南北に結ぶ道路である駅前太中線のうち、天王一丁目から丑寅一丁目までの区間の整備を行う。	H 30 年度	内 容	①委託 C= 0 百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H31 年度	継続
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					
13	事業名	新名神推進事業											
	目的 及び 概要	西日本高速道路㈱が整備する新名神高速道路及び大阪府が整備するアクセス道路の建設促進を図る。	H 30 年度	内 容	①施設移管						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		完了	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H31 年度	-
											H32 年度	-	
											H33 年度	-	
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
14	事業名	【再掲】彩都建設推進事業											
	目的 及び 概要	広くは大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。彩都のまちづくりを進めるため、大阪府、都市再生機構、民間事業者及び庁内関係各課等と協議調整を行いながら整備を進める。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】 【関連取組:5-4-2 彩都のまちづくり】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 30 年度	内 容	①交番の設置要望 ②(東部地区)先行エリアの事業推進 ③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(2.2)	うち市負担分 (百万円)	(2.2)	H31 年度	継続
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					
取 組		5-8-3	駐車場・駐輪場の充実										
15	事業名	市営駐車場管理運営事業											
	目的 及び 概要	本市内の道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するため駐車場施設の管理運営を行う。	H 30 年度	内 容	①指定管理者による駐車場管理 ②利用料金の見直しの検討・調整						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(312.0)	うち市負担分 (百万円)	0.0	H31 年度	継続
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	市営駐車場修繕事業											
	目的 及び 概要	市民が市営駐車場を常に良好な状態で利用 してもらうため、定期的に施設を点検する。損 傷状態を判定して修繕を実施する。	H 30 年度	内 容	①定期的な施設点検 ②非常用発電機制御盤修理 ③施設の修繕(中央公園駐車場ITV設備更新)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	12.0	うち市負担分 (百万円)	12.0	H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	12.0	うち市負担分 (百万円)	12.0	H32 年度	継続
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	12.0	うち市負担分 (百万円)	12.0	H33 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

17	事業名	送迎用バスターミナル管理運営事業											
	目的 及び 概要	JR茨木駅周辺の道路交通の円滑化のため、 送迎用バスターミナル(上穂東町・松ヶ本町) の管理運営を行う。	H 30 年度	内 容	①用地賃借料						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	20.4	うち市負担分 (百万円)	9.1	H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	20.4	うち市負担分 (百万円)	9.1	H32 年度	継続
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	20.4	うち市負担分 (百万円)	9.1	H33 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

取 組	5-8-4	歩行者、自転車利用環境の整備									
-----	-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

18	事業名	自転車利用環境整備事業											
	目的 及び 概要	安全で快適な自転車の利用環境を実現させ ることを目的に自転車利用環境整備計画に 基づいて整備を行う。	H 30 年度	内 容	①優先整備対象路線の整備 ・市道沢良宜西一丁目玉島台線 C=1.5百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.5	うち市負担分 (百万円)	0.7	H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.5	うち市負担分 (百万円)	0.7	H32 年度	継続
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	1.5	うち市負担分 (百万円)	0.7	H33 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

取 組	5-8-5	★ 交通安全対策の推進									
-----	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

19	事業名	◎ 交通安全対策事業											
	目的 及び 概要	交通事故の撲滅や無秩序なめいわく駐車・違 法駐車の排除を図るため、幼稚園・小中学校 等での交通安全教室を実施するとともに、 交通安全推進団体に対し交付金を付与す る。 また、高齢者の自転車乗用中の転倒による頭 部損傷の重大事故から身を守る自転車用ヘル メットの着用を、広く市民に啓発推進する。	H 30 年度	内 容	①交通安全教室の実施 ②「交通事故をなくす運動」茨木市推進本部交付 金 C=1.5百万円 ③茨木市高齢者運転免許証自主返納支援 事業補助金 C=9.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	10.5	うち市負担分 (百万円)	10.5	H31 年度	継続
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	10.5	うち市負担分 (百万円)	10.5	H32 年度	継続
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	10.5	うち市負担分 (百万円)	10.5	H33 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名	◎ 歩道設置事業											
	目的 及び 概要	歩行者等の安全確保やバリアフリー化を推進 するため、通学路になっている市道において 歩道を整備するとともに、歩道の段差解消や 改良を行う。	H 30 年度	内 容	①横断歩道新設工事 C=11.0百万円 ②通学路カラー舗装 C= 1.7百万円 ③工事負担金ほか C= 4.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	16.7	うち市負担分 (百万円)	16.7	H34 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

21	事業名	◎ 交通安全施設整備事業											
	目的 及び 概要	道路の安全性向上を図るため、市道及び市 管理道路において安全施設(カーブミラー、 横断防止柵、ガードレール、車止め等)を整 備する。	H 30 年度	内 容	①交通安全施設整備事業						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	55.0	うち市負担分 (百万円)	55.0	H34 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

22	事業名	◎ 交通安全施設維持管理事業											
	目的 及び 概要	市道及び市管理道路において設置されてい る道路の安全施設(カーブミラー、横断防止 柵等)の維持管理を行うとともに、交通量を調 査し、道路改良工事における資料として活用 する。	H 30 年度	内 容	①交通安全施設修繕 C=17.0百万円 ②交通量調査 C=1.9百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	18.9	うち市負担分 (百万円)	18.9	H34 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード					

23	事業名	放置自転車等対策事業											
	目的 及び 概要	駅前周辺の美観の保持と歩行者等の安全確 保を図るため、市内各駅からおおむね300 メートルの範囲を放置禁止区域とし放置され ている自転車・ミニバイクを定期的に撤去、移 動作業を行う。	H 30 年度	内 容	①駅前指導・移動・保管 ②保管事務所の警備						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	36.1	うち市負担分 (百万円)	31.7	H34 年度	継続	
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取 組		5-8-2	★ 道路整備の推進							
E1	事業名	茨木松ヶ本線竣工式典の開催(H29年度事業完了)								
	目的 及び 概要	茨木松ヶ本線の全線供用開始を記念し、供用開始記念式典を開催した。								
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
取 組		5-8-2	★ 道路整備の推進							
E2	事業名	茨木松ヶ本線整備事業(平成29年度事業完了)								
	目的 及び 概要	市街地中心部の交通混雑の緩和のため、平成29年度末の完了をめざし、府道大阪高槻京都線(松ヶ本町)から東中条町までの1,060mに関して、道路新設や拡幅・改良工事を実施した。								
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード	

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-9	市民・民間によるまちづくりを促進する
施策の方向性	まちづくりに関する知識の普及、情報の提供、まちづくり活動への支援を継続して進め、住民主体のまちづくりの促進に努めるだけでなく、民間事業者と協力して進める新しいまちづくりについても検討、推進し、本市の魅力と活力を発信していきます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	民間との連携、活力の活用
	2	市民による地域づくり
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-9-1		民間との連携、活力の活用										
1	事業名		【再掲】阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業											
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】	H 30 年 度	内 容	①事業基本計画 2,297万円 1測量業務(駅前広場・道路・駅前ビル) 2基本設計作成(駅前広場・交差点等) 3関係機関との協議 4事業採択時評価 5東口周辺のあり方検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H31 年度	継続								
					H32 年度	継続								
					H33 年度	継続								
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(23)	うち市負担分 (百万円)	(18.7)	H34 年度	継続		
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ハード					
2	事業名		【再掲】JR総持寺駅整備事業											
	目的 及び 概要	平成30年春、JR京都線摂津富田・茨木間に新駅設置と周辺整備を行うことで、交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図る。 【関連取組:5-6-3 (仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり】	H 30 年 度	内 容	①工事進入路の撤去、借地等用地処理、通信機械等設置						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H31 年度	-								
					H32 年度	-								
					H33 年度	-								
					方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	(145.6)	うち市負担分 (百万円)	(94.1)	H34 年度	-		
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ハード					
3	事業名		【再掲】バリアフリー化推進事業(ソフト)											
	目的 及び 概要	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に基づき、旅客施設や病院、福祉施設など高齢者や障害者等が利用する施設が集まった地区(重点整備地区)のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する。 【関連取組:5-7-2 誰にも優しいまちづくりの推進】	H 30 年 度	内 容	①バリアフリー基本構想に基づいた取組の進行管理						事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
					H31 年度	継続								
					H32 年度	継続								
					H33 年度	継続								
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H34 年度	継続		
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	【再掲】バリアフリー化推進事業(ハード)													
	目的 及び 概要	バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、重点整備地区の道路、歩道、施設などのバリアフリー化に取り組む。 【関連取組:5-7-2 誰にも優しいまちづくりの推進】				H 30 年度	内 容	①工事 ・生活関連経路 市道駅前一丁目学園南線ほか C=20.7百万円 ・総合案内表示板 C= 2.0百万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(22.7)	うち市負担分 (百万円)	(12.3)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

5	事業名	【再掲】JR総持寺駅周辺整備事業													
	目的 及び 概要	JR京都線摂津富田・茨木間に新駅が設置されることを受け、利用者の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図るため、駅前周辺道路等の整備を行う。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】				H 30 年度	内 容	①庄中央線 C=216.5百万円 ②総持寺駅前線 C=261.9百万円 ③公囀 C= 10.0百万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(488.4)	うち市負担分 (百万円)	(227)	H31 年度	継続
													H32 年度	完了	
													H33 年度	-	
													H34 年度	-	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

6	事業名	エリアマネジメント推進検討事業													
	目的 及び 概要	既成市街地や新たな開発において、住民・事業者・地権者等の地域の担い手が主体となった将来の維持管理や運営(マネジメント)等の地域を育てる取組を推進する。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】				H 30 年度	内 容	①関係部署・関係機関との協議 ②市民・民間との連携・協働				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

7	事業名	【再掲】地域でのまちづくり推進事業													
	目的 及び 概要	市民がまちづくり活動等に参加するきっかけづくりや意識啓発のための事業を実施する。 【関連取組:5-9-2 市民による地域づくり】				H 30 年度	内 容	①いばらきまちづくりラボの開催 ②まちづくり塾の開催 ③生涯学習出前講座の実施				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.5)	うち市負担分 (百万円)	(0.5)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

8	事業名	【再掲】幹線道路沿道土地利用事業													
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力づくり】				H 30 年度	内 容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 【目垣地区】 ①関係機関協議 ②都市計画変更・決定 ③土地区画整理組合設立					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(110)	うち市負担分 (百万円)	(110)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

9	事業名	【再掲】低炭素都市づくり推進事業													
	目的 及び 概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】				H 30 年度	内 容	①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

10	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業													
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】				H 30 年度	内 容	①都市計画決定等					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.2)	うち市負担分 (百万円)	(1.2)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
													H34 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

11	事業名	【再掲】立地適正化計画策定事業													
	目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】				H 30 年度	内 容	①パブリックコメント等の実施 ②立地適正化計画の策定					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(4.8)	うち市負担分 (百万円)	(2.3)	H31 年度	継続
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
													H34 年度	-	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名【再掲】茨木市総合交通戦略事業														
	目的 及び 概要			本市にふさわしい交通のあり方の実現に向け、市民、交通事業者、関係機関など多様な主体との協働により、計画的に交通施策を推進する。 【関連取組:5-8-1 公共交通の維持・充実】			H 30 年度	内容	①計画の進行管理 ②計画に位置づけられている短・中期施策の実施 ③短期(概ね5年)で実施した施策を検証するとともに中期で実施する施策について中間検証を行い、必要に応じて計画を見直す。				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	(9)	うち市負担分 (百万円)	(9)	H31 年度	臨時 拡充
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	-
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分		ソフト		

13	事業名【再掲】ダム周辺整備事業														
	目的 及び 概要			早期の治水効果発現を目指して建設中の安威川ダムにおいて、ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】			H 30 年度	内容	①民間事業者とのヒアリング ②安威川ダム周辺整備基本構想とりまとめ ③事業者公募開始				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(36.5)	うち市負担分 (百万円)	(21.4)	H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	完了
														H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分		ハード		

14	事業名【再掲】彩都建設推進事業														
	目的 及び 概要			大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】 【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内容	①交番の設置要望 ②(東部地区)先行エリアの事業推進 ③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2.2)	うち市負担分 (百万円)	(2.2)	H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分		ソフト		

15	事業名【再掲】北部魅力アップ事業														
	目的 及び 概要			本市北部地域にある緑豊かな自然環境や歴史環境、現在事業推進している安威川ダム、新名神高速道路、彩都の大規模プロジェクトなどの資源をつなぐとともに、地域課題や地域のあり方も踏まえ、北部地域の魅力向上を図るための検討と取組を地域や関係団体とともに進める。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内容	①魅力向上事業 (資源や人、組織との連携強化と対話の推進、プロモーション展開) ・新名神開通イベントの実施 ・「いばきた」フォトサイクリングの実施				事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2)	うち市負担分 (百万円)	(2)	H31 年度	継続
														H32 年度	継続
														H33 年度	継続
														H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名	【再掲】茨木市中心市街地活性化事業											
	目的 及び 概要	中心市街地の活性化を図るため「中心市街地活性化に関する法律」に基づく「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】			H 30 年度	内 容	①中心市街地活性化協議会開催・協議調整 ②内閣府との協議・パブリックコメント・認定申請に向けた計画書の精査 ③推進体制の確立に向けた調整					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
												H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		

17	事業名	【再掲】JR茨木駅西口駅前周辺整備事業											
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】			H 30 年度	内 容	①基本計画策定等 1,488万円 1まちづくり協議会運営 2公共施設・施設建築物基本計画 3関係機関協議					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(14.9)	うち市負担分 (百万円)	(11.3)	H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
												H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分		ハード		

18	事業名	【再掲】JR茨木駅構内エスカレーター整備事業											
	目的 及び 概要	JR茨木駅利用者の利便性向上ならびに本市の玄関口としてのイメージアップやにぎわい創出を図るため、駅構内におけるエスカレーター設置等を行うとともに、本事業により暫定整備となっている東口駅前広場上部デッキ底部分ならびに駅前広場の交差点整備を行う。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】			H 30 年度	内 容	①駅構内エスカレーター整備負担金 1億4,240万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	(142.4)	うち市負担分 (百万円)	(72)	H31 年度	-
												H32 年度	-
												H33 年度	-
												H34 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分		ハード		

19	事業名	【再掲】細街路等整備事業											
	目的 及び 概要	開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画及び生活道路整備に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進め、良好な住環境を創出する。 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-5-1 快適で良好な住環境の形成】			H 30 年度	内 容	①用地購入費(32.3百万円) ②整備補助金(20.7百万円) ③公嘱(1.2百万円)					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(54.2)	うち市負担分 (百万円)	(54.2)	H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
												H34 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般		事業区分		ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名	【再掲】福祉のまちづくり事業												
	目的 及び 概要	高齢者や障害者が、安全で気軽にあらゆる社会に参画し、自らの意思で自由に行動できるよう、都市施設のうち大阪府福祉のまちづくり条例に基づく基準適合努力義務対象建築物について、事前協議を行う。 【関連取組:5-7-2 誰にも優しいまちづくりの推進】			H 30 年度	内 容	①事前協議書の受領・審査及び完了届出書の審査(0.0百万円)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H34 年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
21	事業名	【再掲】次なる茨木・グランドデザイン推進事業												
	目的 及び 概要	中心市街地におけるまちの将来像を描いた「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、多くの市民や多様な主体と共有・発展しながらつくりあげる。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】			H 30 年度	内 容	①市民とのワークショップ ②専門家の助言 ③まちづくりの担い手との意見交換 ④産官学民の連携						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	(0.4)	うち市負担分 (百万円)	(0.4)	H34 年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
取 組	5-9-2		市民による地域づくり											
22	事業名	地域でのまちづくり推進事業												
	目的 及び 概要	市民がまちづくり活動等に参加するきっかけづくりや意識啓発のための事業を実施する。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 30 年度	内 容	①いばらきまちづくりラボの開催 ②まちづくり塾の開催 ③生涯学習出前講座の実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H34 年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

過去の実施計画期間中で完了した事業は事業実施最終年度のみ

取 組		5-9-1	民間との連携、活力の活用							
E1	事業名	【再掲】中心市街地活性化支援補助事業(H29年度事業完了)								
	目的 及び 概要	中心市街地の活性化を図るため、市民等によるまちづくり活動に対して、提案公募型公益活動支援事業(自由テーマ型事業)での補助により対応を図った。 【関連取組:5-9-2 市民による地域づくり】								
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	
取 組		5-9-2	市民による地域づくり							
E2	事業名	中心市街地活性化支援補助事業(H29年度事業完了)								
	目的 及び 概要	中心市街地の活性化を図るため、市民等によるまちづくり活動に対して、提案公募型公益活動支援事業(自由テーマ型事業)での補助により対応を図った。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】								
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	